様式1 # 平成27年度　山梨県立中央高等学校・定時制　評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	規範意識の育成を図ると共に、社会の中で自立する生徒を育てる。

山梨県立中央高等学校校長　山本　英樹

本年度の重点目標	
	1　生徒が、生き生きと登校する学校づくりを進める
	2　社会において自立できるしなやかな心を持つ生徒を育てる
	3　きめ細かい指導により、確かな学力を育成する

達成度		
	A	ほぼ達成できた。（8割以上）
	B	概ね達成できた。（6割以上）
	C	不十分である。（4割以上）
	D	達成できなかった。（4割以上）

評価		
	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自　己　評　価							学校関係者評価	
	本年度の重点目標			年度末評価（2月12日現在）			実施日　（平成28年3月11日）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	生徒が、生き生きと登校する学校づくりを進める	規範意識の向上を目指した啓発活動の工夫 教育相談を中心としたインクルーシブ教育システムの構築 CHUOハーモニックプランに位置づけられたSSTの実施によるコミュニケーション能力の向上 新校舎の設置に伴う、生徒の安全確保体制の整備	アンケート調査・観察 アンケート調査 生徒指導・支援会議による評価 アンケート調査・観察 危機管理マニュアル 防災計画書の内容	・基本的な生活習慣の確立を必要とする生徒も多く在籍している。学校活動に必要なルール理解のため、段階的な生徒指導を実践した。 ・職員アンケートの生徒の固定情報の共有については、評価が高いものの、生徒の様々な指導経過の情報共有が難しく、生徒がより安心して学校生活を送ることができるよう、工夫改善を継続する必要がある。 ・よりシンプルで、行動しやすい、危機管理対応のガイドライン等を用意した。新校舎完成に伴う、詳細なものを現在作成中である。	B	・障害者差別解消法が成28年4月1日に施行される。発達障害及び、その疑いのある生徒の在籍割合が全日制よりも多いので、具体的な合理的な配慮の方法を実践例等の情報収集・準備をしながら構築予定である。 ・生徒の指導状況等の情報を共有するためのシステムを構築し、職員間連携の迅速化に努める。	4	・生徒アンケートの結果が昨年度よりも相対的に高い評価を受けており、生徒が生き生きと登校する学校づくりを進めていると評価できる。 ・障害者差別解消法の施行にあわせて一層きめ細かな指導を期待したい。 ・問題行動で指導された生徒延べ数、退学者数が、ここ数年大幅に減少している。午前、午後、夜間と勤務時間が別れているのにもかかわらず、職員の意志統一ができ、個々の生徒への細やかな指導、守るべきことの周知徹底ができているからだと思う。 ・生徒へのアンケートでも7割が悩みを相談できる人がいると答えており生徒の信頼も高い。生徒の悩みをさらに解消するために、SSWの活用、SSTの実施等をさらに推進していただきたい。
2	社会において自立できるしなやかな心を持つ生徒をCHUOハーモニックプランを通じて育てる	CHUOハーモニックプランの計画・実践 進路意識の高揚を図るための、進路行事の工夫と段階を追った進路指導の充実 総合的な学習の時間の計画的運営 生活体験文の作成を通じた、キャリア発達の推進	アンケート調査 アンケート調査 計画的実施状況 生活体験文発表会	・CHUOハーモニックプランの運用主体を分掌の再編により総務企画係に位置づけ、進路指導係、各年次主任、教育相談係とキャリア教育の観点で連携を強化した。 ・昨年度末に行った、キャリア教育プログラムの実践から、具体的な進路実現に必要な指導イメージが職員と生徒に浸透してきた。年度当初からの継続的な指導によって、卒業予定生の進路決定が順調に行われた。 ・職員アンケートの「進路情報の提供」および「進路実現に対応するための外部機関との連携」の2項目について、90％以上の高評価となった。	A	・就職や進学に係わる内容について、生徒が早い段階から意識できる取り組みや、進路選択までに、家庭が準備しなければならない進路情報の提供や外部機関との関わりを積極的に行うことで、大きな成果が得られた。プランに対する意識付けを行うために、推進キャラクタを生徒募集により決定した。すでに次年度の具体的な実践についての検討準備を始めており、よりよい「ハーモニックプラン」を目指している。	4	・就職や進学に関する取り組みを精力的に行っていることがうかがわれ、教職員間、対生徒、対外部機関で連携がうまくはかられていると評価できる。生徒の家庭との意思疎通を緊密にしながら、成果を今後もあげていくことを期待したい。 ・大学進学者・就職内定者の大幅増加により、進路決定率が80％とたいへん喜ばしいことである。ハーモニックプランの成果が出ていると感じる。これからも、さらに推進していただきたい。 ・生徒を自立させるために一番必要なことは自信をもたせることである。スポーツ、商業実務、文化芸術等の大会で全日制の生徒と競わせ負けないだけの力をつける指導をさらに進めていただきたい。 ・インターンシップやボランティア活動など、学校を出て社会と交わる活動をさらに増やしていただきたい。
3	きめ細かい指導により、確かな学力を育成する	授業の質的向上のための、教員相互の授業観察と授業アンケートの実施 三部制に対応した教育課程の編成 基礎的・基本的知識の定着を図るマイステップ学習の実施 主体的な学びを定着させるための、個別課外の実施や学習室の設置等、学習環境の整備	授業観察記録表 授業アンケート 教育課程の編成 マイステップ学習教材の内容 計画的実施状況	・生徒アンケートの「選択科目や学習する教科・科目が自分の個性や進路にあっている」について、高評価割合が77%と低くはないが、評価順位の下位項目に位置づけられている。 ・三部制初の卒業予定生の進路決定状況より、現在の教育課程について一定の成果はあったが、検証を詳細に行い、評価の方法等も改善をしたい。	B	・主体的な学びを各教科の授業計画への導入、通級指導に対応する教育課程の編成等、新たな課題に取り組んでいく。 ・職員アンケートの昨年度比で大きく高評価割合がアップした項目に、「基礎基本を明確にした授業計画が作成され、効果的に指導が行われている。」がある。教育課程の実施検証結果を踏まえて、改善を継続していく。	4	・先生方はわかりやすい授業を展開されておられるようで、生徒の評価も高い。 ・午前部には進学希望の生徒も多いと思われるが、先生方は、生徒の学力を伸ばし、全日制に追いつき、追い越すという気持ちを常に持って欲しい。 ・生徒アンケートの「進路について考えるための情報が適切に伝えられている。」という項目の高評価割合が82．1%となっており、おおむね目標は達成できていると評価できる。進路の実績で結果を出すことも期待したい。

留意点　（1）重点目標と評価項目については，各学校の現状と課題に基づき，実情に合わせて重点化し，設定する。
（2）学校関係者評価については，年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し，評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは，最終回の学校評価委員会等を開催し，学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。